

基本計画が完成

令和6年度は、これまでの基本構想や事業方針を元に、こまつリビングラボやティーンズ世代、民間事業者の皆さんとの対話を通じて、基本計画を策定しました。

今年度は、未来型図書館の整備及び管理運営を行う事業者の選定手続きに着手し、2030年の開館に向けてプロジェクトを進めていきます。

問い合わせ



未来型図書館づくり推進チーム ☎24・8042

様々な使い方が可能な
開放的な空間

02 リビングラボは共創のまちづくりの拠点へ「まちを創る」

対話を通じて様々なプロジェクトが生まれるリビングラボは施設の中心的な機能となります。これからは、立地場所となる芦城公園から小松駅へとつながるエリアの回遊性向上などを共に考える場への発展を目指します。



出張! リビングラボ

これまでの未来型図書館づくりや基本計画の内容について、多くの人に知ってもらうため、出張リビングラボを開催します。



対象 市内で活動している団体やグループ、学校など ※5人以上

時間 随時(1回あたり1時間程度)

開催場所 申込団体で用意してください。

申し込み 電話、メールまたはこまつ電子申請サービス

申込先 未来型図書館づくり推進チーム ☎24・8042
✉miraigata@city.komatsu.lg.jp

未来型図書館を共に創る!
こまつリビングラボ

03 子どもたちが未来を想像する場に「ひとを創る」

未来型図書館の企画や運営を支える「子ども司書」と「子ども学芸員」を養成します(日程・内容は変更になる場合があります。いずれも受講料1,500円)。

子ども司書養成講座

【開始】10月～

- 司書の仕事を体験しよう(本の探し方・読み聞かせなど)
- 「テーマ配架」を知ろう
- 本のPOP作り
- オリジナル絵本をつくってみよう など



子ども学芸員養成講座

【開始】8月～

- 学芸員の仕事を学ぼう
- バックヤードツアー
- 伝わる作品の解説パネルを作ってみよう など



01 多様な活動・体験を生み出す機能「こと・ときを創る」

図書館を中心に博物館や市民の交流・活動を支える機能など多面的な機能が融合し、新たな発見や出会いが生まれる施設を目指します。

- 図書館: 想像力を湧き立たせるテーマ配架
- 博物館: 変化のある体験型の企画展示、市民ギャラリー
- 交流・くつろぎ: 多様な利用スタイルの市民交流スペース、カフェ
- 創造・共創: 楽しく集えるティーンズスタジオ、対話と活動が生まれるリビングラボ

テーマ配架を中心に
蔵書数35万冊

吹き抜けを介して活動が感じられ
多世代交流のきっかけに

市民との協働で定期的に
展示内容を更新